

令和元年 6 月 1 2 日

中国電力株式会社

島根原子力発電所長 山本 直樹 殿

島根原子力規制事務所

統括原子力運転検査官 足立 恭二

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成 3 0 年 4 月 1 日から平成 3 1 年 3 月 3 1 日に行われた、島根原子力発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

平成 3 0 年度の事業者による安全文化・組織風土の劣化防止に係る取組状況については、前年度の評価結果を踏まえた課題及びマネジメントレビューアウトプットからの課題である「まっすぐな意識と姿勢」に係る改善を図るため、安全文化に関する講演会等の取組活動を継続し、安全文化醸成活動を行っている。

しかしながら、期待する成果や達成度等を踏まえた課題抽出が実施されていないことが原因と思われる不適切な事象（調達要求を明確にしないまま原子炉補機海水系配管の巡視点検を委託等）が発生していることから、「取組は行われているが、改善が見られない。」と評価する。

安全文化・組織風土の劣化兆候については、自らが定めたルール（原子炉補機海水系の日常点検）の不徹底及び津波警報発令時における対応要領の不備（水密扉に係る緊急時の指揮・命令系統の運用）等において、安全に係る基本的事項であるにも係わらず、委託先に責任を一任したまま、事業者自身が確実に実施されているか確認しない姿勢が散見された。

以上のことから、「常に問いかける姿勢」等の要素において劣化傾向が見られることから、「特定の安全文化要素について劣化兆候が見られる。」と評価する。

以上